

防災シンポジウム 真備町の教訓を甲府盆地の 広域避難に生かす

日時 平成 30 年

12月25日(火)
13:30～16:10

(受付開始時間 13:00～)

会場

山梨県立図書館
2階多目的ホール

山梨県甲府市北口2丁目11

本年 7 月に発生した西日本豪雨災害で被災した真備町は、地形的に甲府盆地のミニチュアと言えます。したがって、真備町の水害は山梨県民にとって他人事ではありません。防災意識の低い県民性、最近の低い避難率、甲府盆地が真備町の 10 倍以上の浸水人口・面積であることを考えると、対策がなければ大規模洪水時には甲府盆地では多くの犠牲者が発生することになります。

そこで、真備町で被災経験をされた高知県立大学大学院の神原教授に基調講演をして頂き、被災地の現状をご紹介いただくとともに、大学、国土交通省、山梨県、県内市町村、地区住民などが参加して、甲府盆地の広域避難、今後の洪水対策のあり方について、ソフト、ハード対策の両面から議論を行いたいと思います。住民・行政を問わず、多くの県民の皆様の参加をお願い致します。

(基) 調講演

「水害時における避難者の 特徴と健康支援活動」



高知県立大学大学院教授
神原 咲子 先生

専門は災害看護。真備町の実家で西日本豪雨に遭遇。被災者のために「これから手帳」を制作。国内外で精力的に活動。災害に関する健康リスクを減らす減災ケアを提唱。

(パ) ネルディスカッション

「真備町の教訓を甲府盆地の広域避難に生かす」

パネリスト



神原 咲子 氏
高知県立大学
大学院教授

パネリスト



安谷 覚 氏
国土交通省
甲府河川国道事務所長

パネリスト



若林 一紀 氏
山梨県防災局長

パネリスト



田中 久雄 氏
中央市長

パネリスト



新海 一芳 氏
中央市リバーサイド
第 3 自治会長

パネリスト



鈴木 猛康 氏
山梨大学地域防災・マネジ
メント研究センターセンター長

コーディネーター



末次 忠司 氏
山梨大学地域防災・マネジ
メント研究センター副センター長